

2022.10.19. 攻撃される時  
第一ペテロ 3章 13節～17節

JD ファラグ牧師

「第一ペテロの手紙3章」です。ここにおられる方で、可能な方はお立ちください。神の御言葉を朗読しますので、ついて来てください。無理な方は、着席したままで結構です。今日の箇所は13節から17節までです。使徒ペテロは、聖霊によってこう続けます。

—I ペテロ 3:13—

もしあなたがたが良いことに対して熱心であるなら、だれがあなたがたに害を加えるでしょう。

—I ペテロ 3:14—

たとえ義のために苦しむことがあっても、あなたがたは幸いです。人々の脅かしを恐れたり、おびえたりしてはいけません。

—I ペテロ 3:15—

むしろ、心の中でキリストを主とし、聖なる方としなさい。あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。

—I ペテロ 3:16—

ただし、柔和な心で、恐れつつ、健全な良心をもって弁明しなさい。そうすれば、キリストにあるあなたがたの善良な生き方をののしっている人たちが、あなたがたを悪く言ったことを恥じるでしょう。

—I ペテロ 3:17—

神のみこころであるなら、悪を行って苦しみを受けるより、善を行って苦しみを受けるほうがよいのです。

祈りましょう。よろしければ、一緒にお願ひします。主よ、私たちはあなたにすべての栄光を捧げます。私たちの姉妹ジュディにしてくださったことなさっておられることに、あなたの聖なる御名、イエスにすべての栄光を捧げます。神よ、あなたはとても良いお方です。あなたにとって難しいことは何もありません。あなたは不可能を可能にされる神です。あなたは偉大な医師です。主よ、恐らくこの礼拝に参加されている方、あるいはオンラインで見ている方が、同じような経験をしているかもしれません。

主よ、彼らの心を励まし、強め、あなたを呼び求め、叫ぶ声に耳を傾けてくださいますように。主よ、あなただけがお出来になられます。主よ、私たちの前にあるこの御言葉で、聖霊によって、常にご忠実であられる通り何を私たちに示し、語ろうとしておられるのか大きな期待をもって待ち望みます。

主よ、特に今日取り組むテーマが、多くの人が悩んでいる問題だと知っています。主よ、聖霊が私たちの教師、導き手となられ、今日のこの節を通して、導いてくださるよう祈ります。

主よ、私たちが共に御言葉に触れるこの時間、あなたがなさろうとしておられることに前もって感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください、ありがとうございます。

あ。。。感動しました。(2022.10.09.奇跡の証 Judy 鈴木さん癌からの生還 奇跡の証)

主よ、感謝します。では今日は、クリスチャン生活で、私たちが攻撃にさらされる時、なぜ、どのように強められ、励まされるかを話したいと思います。私たちは、たぶんこの手紙が書かれた初代教会のように激しい攻撃や迫害は経験しないでしょうが、この箇所に織り込まれている激励とはとはいえ、私たちにも当てはまります。以下は、5つの激励、言い方はマズいかもしれませんが、励ましと言った方がいいで

しょうが、特に、悪質な攻撃、霊的攻撃、霊的戦いにさらされている人たちにとって、非常に大きな慰めと励ましと大きな力の源になるでしょう。あえて始める前に言いますが、あのラッパが鳴る前の終わりの日が近づくとつれ、霊的な攻撃の激しさが増してくることに、皆さん同意されると思います。というわけで、皆さん御機嫌よう。もっと酷くなりますからね。ー(笑)ー

しかし、ありがたいことに、神の御言葉、御言葉の神が、そのような時に私たちがどうあるべきかを非常に実用的に語っておられます。では1つ目、13節ですが、これはとても重要です。全部重要ですけど.....攻撃されても、「害を加えられることはない」それをペテロがここで聖霊によって話しています。彼は、修辭的な質問で語ります。「もしあなたがたが、良いことに対して熱心であるなら、だれがあなたがたに害を加えるでしょう。」修辭的な質問とはどういう意味が分かりますか？ 言い換えれば、「答えない質問」で、彼は基本的に、あなたに質問することで、あなたに代わって答えます。誰があなたに害を加えますか？ あ〜そう、言い換えれば、あなたが、義のために熱心なのが証明されれば、最後にあなたに害は及びません。それは、攻撃であなたは傷つかないということではありません。攻撃されると傷つきます。しかし、攻撃や迫害があっても害は加えられないのです。事実、さらに踏み込んで言えば、これから見る通り、それらの攻撃が、あなたを助けるかもしれません。どのように？ ええ、

2つ目、14節です。「恐れる必要はない」恐れでいっぱいになる必要はありません。これは実は、「イザヤ書8章11節12節」からの引用です。過去の多くの「聖書預言・アップデート」で、「イザヤ書8章11節12節」を参照してきました。預言者イザヤは、ユダの人々に言います。

「彼らは謀反（陰謀）を企てているが、それらを何一つ謀反と呼ぶな。」彼らは共謀していたから、それが謀反です。意味深なのは分かっています。彼らは、ユダを攻撃するために謀反を企てていました。神の民を攻撃し、滅ぼそうとする陰謀がありました。しかしイザヤは、言います。

「攻撃して滅ぼそうとする彼らの陰謀を恐れてはならない。あなたを攻めるために作られる武器は、どれも役に立たなくなる。(54:17)

最終決定権はわたしにあります。あなたがたが恐れるのは分かります。聖書を読むたびに、「恐れるな」と書かれている箇所が数多くありますよ。なぜ「恐れるな」と書かれている箇所が多いか、知っていますか？ そう、またまた意味深ですが、私たちは恐れるからです。例えるなら、ヨシュア。私はヨシュアが大好きです。彼に会うのが待ちきれません。私もその列にいますよ。皆さんも、きっとその列にいます。私が彼に会うのにあなたの前で割り込みますからね、私を待たないといけませんよ。ヨシュアを想像できます？ 彼は.....モーセはいなくなりました。民はモーセしか知りません。そして、ヨシュアがいて、彼は言います。「神様、誰か他の人を探してください。私にはできません。私には荷が重すぎます。」ヨシュアは、モーセの後継者として、ただ恐れ、おののきにさいなまれていました。ヨシュア記1章。是非お勧めします。もしあなたが落胆し、恐れに打ちひしがれているなら、「ヨシュア記1章」に時間を費やしてください。私は、御言葉の権威と神の善によって、約束します。「ヨシュア記1章」を読んだ後、あなたは以前と同じではなくなります。何度も、「恐れるな」と記してあります。

「ヨシュア、恐れるな。あなたが恐れおののいているのは分かります。勇気を出し、強くあれ、雄々しくあれ。」神が単に「強くあれ、雄々しくあれ。」と仰っているわけではありません。神は、その理由と方法を教えてくださいます。私たちが聖なる御言葉の「何」を行えるのは、聖霊による「ご方法」です。神は、私たちが忠実にできるようになさらずには、決して命令したり、何かをするように召されたりしません。これが実は私たちが、聖書で命令のレベルまで物事を高めたい理由です。なぜなら、もしそれが命

命なら、「OK！」神の命令は重荷にならないからです。神が私たちに命じられるとき、神は私たちに御力を与えてくださいます。なぜなら、神の命令に関して、私たちの不従順者の当事者にはなることが御出来になられません。ですから、神が命令されるとき仰るのです。「わたしはあなたに命じます。」よろしい。そこで聖霊が登場します。私が神の御心に添いたいと願う以上に、神ご自身が、私が御心にいるのを望んでおられるからです。神は、私の人生で、従順となれる環境を常に整えてくださいます。神は、その逆が御出来になられません。神は、私たちの不従順の当事者になることは御出来になられません。主は常に私たちを、従順に資する道へと導びかれます。ですから主は私たちに何かをするよう命じ、この場合、何かをするな、が、「恐れるな、落胆するな。わたしは、あなたに、勇気と強さと雄々しさをもち恐れぬようにと命じます。」そして聖霊が来られます。恐れは霊ではなく、「愛と力、規律ある心の霊」です。私たちは、聖霊に力を与えます。ジュディが先ほど話したことが大好きです。時に、私たちが主に向かって叫ぶ祈りを、主は私たちの叫びの声に耳を傾け、このように、「バ〜ン！」瞬時に聞いて下さいます。求めるものが、そこにあるのです。攻撃されたとき、あなたのお決まりの反応は、どんなものですか？ いや、私自身のことを話しますね。私のお決まりは、皆さんのために犠牲になりましょう。私のお決まりは、恐れです。私は今、かなり悪質な攻撃を受けています。私のお決まりは、彼らが私に何をするのかを恐れ始める傾向があります。イスラエルの甘美な詩篇の作者が大好きです。ダビデが詩篇を書きながら言います。

「だれを私は恐れよう。だれを私は怖がろう。」(詩篇 27:1)

「人が私に何をなし得るでしょう。」(詩篇 56:11)

お〜それがあなたにこのような聖なる力を与え、「そうだ！！ あなたは私を傷つけ、攻撃し、悪口を言い、誹謗中傷もでき、侮辱できる。何でもできるけれど、しかし私に害は加えられない。」その理由はこうです。へへへ。あれは、何というか、たぶん....ちょっとお付き合いください。あれは.....きつとミーム…アニメでしょうけど、牧師がアニメを引用し始めたらヤバいですが、小さな獅子か幼獣を捕まえると、それが唸っています。で、目の前に大きな獣のような熊がいて、彼は昼食で、その大きな熊にとっては昼食後の残り物かもしれません。でも幼獣は、一生懸命唸っていて、その唸る理由は捕獲者の後ろに、あははそう、だから前の熊は今逃げ出したんです。もしもっといい例があれば、喜んで使わせてもらいますよ。恐れる必要はありません。恐れることはありません。「ええ、でも彼らは陰謀を企んでいます。」「わたしは知っています。わたしは全部知っています。」私たちは神に、状況を分かってもらおうと、何とか示さねばならないと考え、思い込むのはどうなのでしょう？ 神は全知全能です。つまり神はすべてを知っておられます。再度、意味深ですが、神は全知全能です。神は、何が起こるか、それが起こる前に正確に知っておられます。

「わたしはすでに陰謀について知っています。陰謀を企てている人たちが生まれる前から、そしてあなたが生まれる前から、陰謀について知っています。わたしは陰謀のことは分かっています。」

祈りの時間を大事にしてください。一祈りに時間を費やすのが前提ですが一神に状況を知らせようと時間の無駄はしないでください。「主よ、先週の火曜日のことをご存知ですか?」「ええ、わたしはそこにいました。わたしは偏在しますから。何が起こったか、正確に分かっています。彼らが何をしたのか、何を投稿したのか、何を誹謗中傷したのか正確に知っています。つまり、リストは続けられます。」

「あ〜そうですね。あなたは神です。」では、なぜペテロはイザヤ書から引用したのでしょうか？ 彼らがイザヤ書を知っていたからです。酷い、激しい攻撃と迫害を受けているこの初代教会は、ペテロが参照

している章と節を知っていたのです。ペテロは、私たちが義の為に苦しむとしても、それは実は祝福であることを思い出すよう、彼らを励ますためにこれを引用しています。それは実は祝福なのです。事実、ひっくり返せば、以前にもお話ししましたが、これはとてもとても重要な原則です。私は、攻撃されないときこそ、非常に心配すべきだと言わせて頂きます。どういう意味ですか？ 皆があなたのことを良く言っているとき、誰もあなたを攻撃しないとき、あるいは、悪魔があなたを放っておくとき、というのはどうですか？ またもっと悪いことに、悪魔はあなたに感謝状とギフトカードを送ってくる時。

「これからも闇の力のために頑張る～。良い働きを～本当にありがとう。あなたは、闇の力と闇の王国にとって、全く脅威ではないからね～。」悪魔は、あなたにとっても満足です。彼は、他のすべての人々にあなたのことをよく言わせてます。「お～もっと言って～」って感じですね。2人の会話の話を思い出します。男が自分の好きな話題、自分自身のことを延々と話しています。「不浄の三位一体。私に、私を、私を。」「I/私は、I/私は、I/アイ・アイ・アイ・アイ...」

やっと話終わったと思ったらひ～ひ～あえぎながら、ずっと彼の自分の話を聞いていた友人に、

「おい、僕の話は話し終わったから、今度は、君が僕の話をして。」—(笑)— マジ？ 自分に正直になれば、自分は自分の好きな話題でしょ。私たちは自分が好きなのです。朝起きて最初に考えるのは誰？ でしょう？「あなたのことを考えてたんですよ。」「まあ本当に？主をほめたたえます。私のことを思ってくれてありがとう。でも、自分のことを考えるほどは、私のことは考えてないでしょ!!!」—(笑)—

「牧師さん、何が言いたいのですか？」ご辛抱ください。これで話の向かう先がありますから。もうすぐ分かります。キリストとの歩みの中で、また、恵みにおいて成長し、キリストにおいて成熟する時、これが実は、名誉の象徴だと気づくのではないのでしょうか。F.B.マイヤーの言葉を聞いてください。非常に良いです。

「世から嫌われることではなく、世から愛され、媚びられ、抱擁されることが、クリスチャンが置かれた最も恐ろしい立場の一つである。いにしへの聖人は問うた。「彼が私のことを良く言うなんて、私はどんな悪いことをしたのだろう。」「私は何か間違っている。」これは「ルカ福音書 6 章 26 節」でイエスが仰ったことです。かなり強烈です。「わざわざだ。」あなたがたに呪いです。直ぐ見ますが、この対比に注目してください。迫害され、攻撃される時、あなたがたは幸いで、そうでない時、あなたがたは呪われる。

#### —ルカ 6:26—

**人々がみな、あなたがたをほめるとき、あなたがたは哀れです。彼らの先祖たちも、偽預言者たちに同じことをしたのです。**

木曜日の夜の礼拝に参加している人は、イザヤ書を終えて、今はエレミヤ書です。お～なんということ。とにかく、わお～エレミヤ、実は私は、ヨシュアの列より先にエレミヤの列に並びますよ。言ってるだけですけど。エレミヤの時代の偽預言者たちは、みんなにお世辞を言って、人々が聞きたい、耳に心地よい事だけを話すのです。「私たちが聞きたい事だけ言って～～」しかし、エレミヤはこちらで民に言います。

「(捕囚は) 70 年続きます。」「エレミアが言ったのを聞いたか？ 前回の「聖書預言・アップデート」で、バビロンに 70 年間捕囚されると言ったぞ。」人々が群がっている偽預言者たちは言います。

「いやいや、違う違う。せいぜい、2、3 年ですよ。」「お～そうか、ではその方がいいね。」ですから、人々はその預言者たちを良く言います。では「マタイの福音書 5 章」でイエスが仰ったことを聞いてください。10 節から読みます。これらは「至福の教え」と愛称されています。

ーマタイ 5:10ー

義のために迫害されている者は幸いです。...

本当ですか？ 逆な気がしますが、この訳でいいのでしょうか？

ーマタイ 5:10ー

義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。

そしてさらに悪いのが、11節。

ーマタイ 5:11ー

わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。

「あなたは、とても祝福されています。」「私は、祝福されているとは思えません。私についての彼らの投稿を見ました？ あなたのせい、あなたのお陰で。彼らが私を憎んだのは、あなたを先に憎んだから？ イエス様。」「あなたは良い仲間ですよ。あなたは祝福されています。」「そうじゃなく、侮辱されています。」誰かがあなたを侮辱したり、悪口を言ったり、ネットであなたに敵対した投稿をするとき、それにこう反応しますか？「うわー！ どうもありがとう。もっと侮辱して、祝福してくれませんか？」

ちなみに、仰っているのはそういう意味ではありません。イエスが仰っているのは、

「世があなたをよく思わないとき、あなたは祝福されているのだから、それは名誉の象徴です。」

なぜなら、世があなたのことを良く言っても、世は自分そのものしか愛さないからです。それではあなたは世と親しすぎるということです。世と親しすぎるなら、ヤコブ(4:4)が語っていますね。その教えを覚えていますか？ ジュディが、ヤコブを持ち出しましたね。このことはいいでしょう……。でも、良かったですね。私は、大変罪を示されました。彼女に持ち出してほしくなかったけど。

「様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。」(ヤコブ 1:2)

これは同じ原理です。イエスは12節で続けてこう仰います。

ーマタイ 5:12ー

喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、(この対比に注目) 人々は同じように迫害したのです。

エレミヤのことですか？ 人々はエレミヤを殺したがりました。彼らは、エレミヤを殺したがりていたのです。エレミヤと、偽預言者ハナンヤの対比、ハナンヤは言います。「エレミヤの言うことを聞くな！ 私が、バビロンに捕らえられた民を連れ戻し、神殿の器を持ち帰るのだ！ それも、せいぜい2、3年のことだ。エレミヤの言うことを聞いてはいけない。」(エレミア 28章)

そしてハナンヤの教会は満員でした。駐車場も満杯です。なぜなら、それこそが、民が聞いたかったことだったからです。人々はハナンヤのことを良く言い、その裏返しで、彼らはエレミヤを、迫害し、脅し、攻撃し、侮辱しました。つまり、あなたがたは良い仲間です。あなたがたの前にいた預言者同様に。もう一度言ってから、次に進みます。真面目に言います。私はユーモアを入れようとしてしまいますが、それは控えた方がいいかもしれません。でも、私は笑いが大好きです。探すこともありません。鏡を見れば笑えますから。しかし、これは真面目です。世があなたのことを良く言っているのなら、大いに心配すべきです。非常に恐れてください。あなたは深刻な問題を抱えています。また逆に、世があなたを侮辱し迫害し、攻撃し、悪口を言っているなら、ほお〜！！！！ いいじゃないですか〜。良いことです。あなたは祝福されています。

3つ目、15節。攻撃されたとき、決して分かりませんよ。「味方につけるときかもしれない」

あの有名な節です。以前にもお話しましたが、私たちの希望を分かち合い、提供する、間違いなく最も重要なものの1つです。聞いてください。攻撃され、侮辱され、迫害され、それは卑劣です。人々は、それを見ています。彼らは、横からその攻撃を眺め、あなたの反応を見ています。彼らは真に、あなたが何をするのかを見たいのです。あなたは他の人たちと同じなのか？

「目には目を、ってやつだな。始まった、やっているぞ！」「お～そうだ！」それってみんながやっていることです。しかし、彼らが待つて見ている時、あなたはそんなことをしないなら？

「お～これって新しい。わあ、こんなこと初めてだ。」特に、誰かが私について、そんなことを言った後に？自分ならどうするかは言いません。とても聖職者的とは言えないからです。あなたは、そういう反応にならず、実際、全く反応しません。実際、ちょっと変な感じ。あなたは変な人だ。ちなみに、変な人だと思われるのを気にしないでください。もう変な人だと思われてますから。あなたには特別なところがある。私たちは特別な民です。大変特別で、目立ちます。他の人と同じではありません。なぜなら、あなたは攻撃や侮辱、迫害を悪意あるものと受け止めているようですが、あなたは、それを主に委ね、主にあって喜んでいるからです。あなたの守り手の主を信頼して待ち、自分で自分を守らない。

彼らのようにならないよう、彼らの愚かさに応じて愚かに答えず、(箴言 26:4)

彼らのレベルまで自分を下げません。そう、非常に興味深いことに、人々はそのことに気づきます。気づかない訳がありません。皆と同じ反応をしない時点で、あなたは他の人とは違います。それが何かを起こします。それは、彼らを促し、あなたに何が起こっているのかを知りたいと思わせます。

「彼らがネット上で、あなたについて言ったことを読みましょうか？」「私は、もう読みましたよ。好きではありませんでしたが。」もちろん、「低評価」は削除されたので、低評価できませんが、多分どうなんでしょう。「ええでも、あなたは削除もしてませんよね？ 反応しないどころか、削除すらしてないじゃないですか。どうして？ 本当に変わった、本当に変な人だ。」

「分かっています。」へへ。これは、また別の機会に別の話で...でも、どうして？

「おお、よくぞ聞いてくれました。理由はこうです。イエスが私の心の中で、私の人生の王座に座っておられます。ですから、私は、何も心配する必要はないのです。イエスが私の主ですから、私が何も反応する必要はありません。イエスは私の救い主で、私の主です。その意味が分かりますか？ 全て、主がお決めになります。私ではありません。主は私の守護者であり、私の解放者です。イエスが私の後ろ盾です。」

ところで、誰かが私を侮辱するとき、背後にいる大きな獅子を思い出してください。ユダ族の獅子を。ですから、自分がすべてのように傲慢になるのはやめましょう。あなたは彼らに答える。彼らが聞くのが前提ですが、これは問題です。なぜならあなたは「彼らは聞いてこない」と言うかもしれませんから。

ふむ。。なぜだと思いませんか？ どうやらあなたは、彼らがあなたには聞く必要がない様な態度をしてきていますね。彼らはもう何度も見えています。彼らに聞く理由を持たせるようにすればどうですか。聞かれないということは、誰もが、あなたのことを良く言っているのでしょうか。ですから、何も起こりません。

しかしあなたがそういう態度ではなく、キリストを心の主とし、人生の主とすることでそれとは違った存在となった時、彼らはあなたに聞こうとします。あなたはどうか答えますか？ あなたが持っている希望を、答える準備をしておく必要があります。私たちがそうするとき、この2つの言葉の最重要性を言い尽くすことは出来ません。"柔和な心で、恐れつつ（敬意をもって）" 私たちが不愉快で、無作法で、厳しく、意地悪だと、大間違いを犯すと思います。

### 「柔らかな舌は、骨を砕く。」(箴言 25:15)

優しい言葉が骨を砕きます。優しく謙虚に、対応する。慎ましやかに、敬意をもって。敬意を持つのです。私たちは大変失礼をしたと思います。敬意を持ち、優しく、謙虚に、品位を持つ。あなたの言葉が、優しさに満ちたものであってください。多くの場合、私たちが何を言うかではなく、私たちは言う事の言い方です。それがすべての違いとなります。ですから、もし聞かれるなら、

「あなたはどうか？ あなたはどこが違うのか？」

すると、あなたの答えはこうなるでしょう。「本当によくぞ聞いてくれましたね。その理由をお話ししましょう。私にはイエスがいて、イエスは私の希望です。イエスが私の祝福された希望です。イエスが私の唯一の希望です。そして、私の人生の主です。私の心はイエスが主で、イエスが聖なる方です。「心の豊かさが口から出る」のが事実では？

つまり、心にあるものが口から出ます。(マタイ 15:18)

キリストが聖なる方で、心に据えているなら私の口からは何が出るのでしょうか？ イエスです。イエス。優しく、敬意を持って、謙虚に、愛情を込め、親切に答える。そう第一に、私ではありません。それは主なのです。聖霊が私に住まわれているんです。私の中のイエスです。それが答えです。それがあなたの求めている答えかどうかは私には分かりません。」

実は、これこそが彼らが求めている答えです。お許しいただけるのなら、その理由を説明しましょう。クリスチャンであるあなたや私に、誰もが持つ2つの質問があります。なぜなら、繰り返しますが、人々は私たちの人生の書簡を読んでいるからです。使徒パウロが参照しています。

### 「私たちの人生は生きた書簡(手紙)である」(II コリント 3:2-3)

人々は私たちの人生の手紙を読むのです。私たちクリスチャンの人生を見えています。彼らは何を読んでいるのでしょうか？ これにも大変罪を示されますね。何を読んでいるのでしょうか？ ホラー小説なのか、それともラブストーリーなのか？ 人々は私たちの人生を読み、彼らはおもに2つの質問をしています。質問その1：あなたは本物？ あなたは本物なのですか？

質問その2：あなたにあるものは効果があるの？

彼らがそれを望む理由はここです。なぜなら、彼らはあなたが本物なのを望んでいて、あなたが本物なら、彼らも本物になれるからです。彼らはそれが効果があるのを望んでいて、あなたが持つその希望が欲しいのです。なぜなら、それが本物で、あなたがその希望を持っていて、それに効果があるなら彼らもそれを望みます。どうしても必要で、欲しくなります。彼らには希望がないからです。彼らは完全に絶望しています。そして、ここで彼らはあなたを見て、あなたには彼らが持っていない何かがある。「希望」です。「私もそれが欲しい。」そして、彼らはあなたに聞きます。「あなたにある希望をどこで手に入れられますか？」「よくぞ聞いてくれました。」「いくらかかりますか？」「必要ありませんよ。」イエスは、あなたの為に、あなたの代わりに、その代価を完全に支払って下さいましたから。それは自由に与えられ、自由に受け取れます。イエスが代価を払ってくださった贈り物ですから。皆さん、驚きますか？ 15節のこの一節だけで、多くの人々がキリストのもとに来たことは、栄光のこちら側の私たちには絶対に分からないと言ったら。

4つ目、16節です。「信頼できる/自信を持てる」

この話にはいくつか興味深い点がありますが、その内おもなものは、明確な良心を持つことは、自信を持つことと同義だということです。これは自分の自信ではありません。これは、キリストにあるキリストだけ

の自信です。ここでペテロが話しているのは、私たちの行動が良いこと、良心が健全であることについてです。なぜか？ それが悪意のある誹謗中傷を事実、黙らせることができるのです。私たちはその自信を持って私の手に汚れなく、良心が健全で、振る舞いが良ければ、黙らせられます。たとえそれが誹謗中傷者を黙らせなくとも、私たちの善行、健全な良心、義の自信が、必ず誹謗中傷者の間違いを証明します。それがどのように見えるのか、どのようなものか紹介しましょう。人があなたを侮辱し、あなたについて色々なことを言い、偽りの告発をし、ののしっています。つまり、残酷です。残酷です。そして、誰かがその投稿を見て、私はソーシャルメディアを例にしますが、先週の教えと預言・アップに敬意を表し、記憶するためです。そう、これってソーシャルメディアではステロイドでしょう？ 私たち大丈夫です？

(会衆：はい。)

あ、罪を示されますね。何でもいいですけど。ー(笑)ー

確かに、誰かの顔を見てするわけではありませんからね。卑怯にも、キーボードと画面、機器の後ろに隠れてするんですからね。彼らは、キーボードの腰抜けと呼ばれます。私が話していることよく分かるでしょ？ その投稿を誰かが見ているわけです。はあ〜!!! 彼らはあなたの返信を見たくてスクロールダウンしますが何もありません。あなたは思わずその彼らのために返事をしたくなります。しかし、代わりにこんなことをします。その投稿を見てこうなります。「ちょっと待てよ。あの人知ってる。いいえ、違う違う。残念ですが、あなたは高ぶりに満ちて彼を非難しているのですか？ 私は彼が非常に謙虚なのは知っているの、彼に聞いてみてください。」

彼はあなたに言うでしょう。自分の高ぶりに謙虚ですから。でも、気にしないでください.....また脱線してしまいました。

「でも、違います。彼はあなたの言うような人じゃない。そんなの彼じゃない。あなたは間違っています。あなたは彼のことを投稿していますね。あなたは彼を侮辱して、偽りの告発をして、誹謗中傷していますが、これ以上真実じゃないものはありません。実は、その逆が事実です。あなたが彼を非難したことすべて、彼は無実です。実際、あなたが彼を非難したことすべて、あなた自身が有罪です。」

それについては、お時間差し上げましょう。なぜか分かりますか？ なぜなら、私たちの罪というのは、常に他の誰かの罪が大変恐ろしく見えるからです。私たちは、自分の罪を互いに告白するよう戒められ、励まされます。私たちはそんなことはしません。その代わりに、他の人の罪を互いに告白し合います。頼みますよ。自分に正直になりましょうよ。では、この自信は健全な良心と同義である話に戻ります。そう、自分の心と頭の中で、自分が正しい側だと分かっています。ですから偽りの告発や誹謗中傷や陰口は、「箴言 (18:8)」にあるように美味しいと言われるのです。「お〜、聞いた？」「いいえ、何を？」美味しい!!! 私たちは美味しいのが好きです。腹の奥に下って行きます。(箴言 18:8)

そして食欲が湧いてきて、もっと欲しくなり、おかわりしに行きます。実は、私は陰口ビュッフエが好きです。食べ放題。でも、自分の心の中では分かっています。

「ああ、人が私のことを噂してもいい。彼らは私を中傷でき、侮辱できるし、憎むこともできる。でも、イエスは私のことが好き。そして、私は正しい道を歩んでいて、すべては義のためだと分かっている。だから、実は私は祝福されている。つまり、確かに傷つくけど、名誉の象徴だ。私にはその自信がある。」私の自信は、主にあります。「ヘブル人への手紙 11 章 6 節」間違っている、怒らないでくださいね？ (4 章 16 節です。) ヘブル書の著者が大変力強く書いています。



ーヘブル 4:16ー

ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

皆さん、分かりました？ 聖なる大胆さがあります。そこには、自分自身ではなく、キリストの自信があります。私たちが大胆に神の御座に近づき、神の御座に請願するのは、私たち自身ではなく、キリストの義に自信/信頼があるからです。では、この最後の1つですが、この1つで終わるのは申し訳ないです。しかし、ここに17節の真意があります。「いずれにしても苦しむ」では、素敵な午後を。いや、でも本当ですよ。どちらにしても苦しみます。キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。(II テモテ 3:12)

"will (受けます)"と書いてないといいのに、"will (受けます)"と書いてあります。原文で、"will (受けます)"じゃないかと思って見ました。こう訳されているかと思って、「キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けるかもしれない。またはそういう可能性がある。」とか。

いいえ、"will (受けます)"です。絶対にそうなります。原文は大変強烈です。保証がなければお金を返します。「"will (受けます)"」ですから、今、選択するのは、ペテロはこの節で引き合いにしているのは、「あなたが苦しむことが神の御心なら、悪の為ではなく善の為に苦しむ方がよい。」その意味するところは、「どっちに転んでも苦しい」ということです。悪のためでも、結果的に苦しむことになりますよね。お〜赦されますが、結果的に苦しみます。つまり、どっちにしても苦しいのです。皆さん許してほしいのが、これはまたしても、私のひどいトライで、ハワイ訛りが得意な妻のように地元っぽいことを言おうとされていて、「善のために苦しむ方がず〜っと良い」なかなか、いい感じでしたね。そんなことないですが、でも皆さん、私に大変優しいですね。(会衆：優しいコメント) はははははは。皆さん、とても優しいです。どうもありがとう。でも、要点は分かりましたか？ ジュディが苦しみについて分かち合ってくれた事を再度感謝します。あなたの祈りが天井から跳ね返ってくるような時、疑い始め、疑問を持ち、苦しみが大変激しく、痛みが非常に大きい時、こうなります。「神よ〜！なぜ私の祈りに答えて下さらないのですか？」そう、どちらにせよ苦しむのです。

「あなたが経験している苦しみの中で、わたしが何をしているかを知りさえすれば、あなたはそんな祈り方はしないでしょ。」

ジュディはそこに到達しました。私は真面目に言いますが、彼女がこの学びを教えるべきでした。彼女は私より良い働きをしたでしょう。しかし、事実じゃないですか？ 苦しみの中で、もう二度と経験したくないと思いつつ、お〜なんということ、主と共に歩んできた長年の人生における苦しい試練のことを考えると、あの耐えがたい痛み。ジュディの場合は、肉体的、感情的なもので、肉体的な痛みというのは、私は痛みへの耐性がありません。私はさかむけで、自分の言語で祈ります。「イエスよ、早く来てください。」

「さかむけで本当に？弱虫ですね。」自分が弱虫なのは分かっています。私の妻は痛みへの耐性が高いです。なんということ。何でもいいですが。私は痛みへの弱いんです。歯医者に行ったら言われました。

「これ以上、局部麻酔は打てません。あなたを殺してしまうかもしれない。」

私は、「いやだ。まだ痛い！」「まだドリルを口に入れてませんよ。」「わかっているけど、やっぱり痛い！」  
ー(笑)ー OK。これが痛みへの私です。でも感情の痛み、霊的な痛み、身体の痛み、すべてが複合的で苦しみます。主はそこにおられます。主は傷つき、苦しんでいる人のそばにおられます。福音書の中で、イエスが苦しんでいる人に惹かれておられたことにお気づきですか？ 主は、彼らのためにわざわざ足

を運ばれました。彼らに惹かれておられました。イエスが惹かれた人たち、福音書を読むと、例外なく毎回共通するのは、イエスは最も小さい人、最後の人、苦しむ人に惹かれておられたことです。主はそのようにまで仰っています。

「わたしは病人のために来ました。彼らには医師が必要です。わたしは偉大な医師です。」(マルコ 2：17 参照)

ですから、苦しんでいる人に惹かれておられます。そして、決して、決して、決して、--私はこれを学んでいます--まだまだ学ぶべきことは多くありますが、学んでいるのが、神はその苦しみの中で大変深い御業をなさっておられ、その苦しみがなければなされない御業をなさっておられる事です。私たちは大きな苦しみや痛みがあるとき、神の御口から出るすべての御言葉に敏感になるのではないですか？

それしかないのです。私たちは、痛みや苦しみがあるときほどに、主に近づくことは他にありません。主はそれを知っておられると思いませんか？ 主は、私たちがこれらのこと、攻撃、迫害、痛み、苦しみを経験することをお許しになり、主だけがお出来になるご方法で、ご忠実な御自身を示されるのです。考えてみてください。その苦しみの杯を深く飲まなければ、逃していたかもしれないものをすべてを。あなたは主の味を知り、主の素晴らしさを見たのです。あなたが経験したことがなかったら、主が良いお方であることを味わい、見ることはなかったでしょう。そのような経験をしなければ、これほど親密で貴重な主を知ることはなかったでしょう。確かにこれが、攻撃されることに関しての事例です。

私は、ただ、、、これで締めくくります。私はこれまで何度も、不相応な攻撃や侮辱、更に偽りの告発を受ける側になりました。そして、傷つきます。傷つかなければ、心が硬く、冷淡かもしれません。もちろん、傷つきます。エレミアがどれだけ傷ついたか、考えてしまいます。ええ、心は痛みますが、害はありません。主との距離が縮まり、より強くなります。そういう仕組みなんです。理に適っていないのは分かりますが、神の領域ではそういう仕組みです。主は、そのような苦しみの時に、あなたを強くしてくださいます。

カポノ、上がって来てください。皆さん、ご起立ください。祈りと歌で締めくくります。

ああ、主よ.....心から感謝します。主よ、今日全日、両礼拝から得た教訓は、あなたがいかに良いお方か、主よ、あなたがいかに偉大なお方かです。あなたはとても良いお方です。あなたはとても優しく、慈悲深く、恵み深く、忍耐強く、長く苦しんでおられます。主よ、あなたは私たちをととても愛してくださっています。あなたは決して私たちを置き去りにしたり、見捨てたりなさいません。あなたはいつも私たちのそばにおられます。私たちの考えややり方でないかもしれません。主よ、私たちのやり方は、あなたのご方法ではないのを私たちは知っています。

私たちの誰があなたの心を知っているのでしょうか、主よ。(ローマ 11：34)

しかし、主よ、今日ここにいる人たち、またはオンラインで見ている人たちに、これは彼らにとって非常に現実的です。これが彼らの毎日の目覚めです。主よ、あなただけがお出来になられる通り、彼らの心を強くし、励まし、希望を与え、守り、勇気を与え、恐れを信仰に置き換えてくださいますように。

主よ、ありがとうございます。私たちはあなたをととても愛しています。あなたの御言葉に感謝します。この第一ペテロのこの部分を、主よ、心から感謝します。今の私たちにとても適切な内容です。そして再度、私たちはあなたにすべての栄光を捧げます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7